

日本混相流学会 2008 年度第 3 回理事会・議事録

日時：平成 21 年 3 月 7 日(土) 13:00-17:00

場所：大阪ガーデンパレス 403 会議室

出席者(理事)：矢部彰(会長)、社河内敏彦(筆頭副会長)、上野隆司(副会長)、阿部豊(副会長)、道奥康治(情報部会長)、齋藤隆之(企画部会長)、石井俊夫(国際部会長)、竹村文男(総務部会長)、高曾徹(九州地区担当理事)、永橋優純(中国・四国地区担当理事)、梅川尚嗣(関西地区担当理事) (欠席：佐藤理事、杉山理事、伊藤理事)

出席者(オブザーバー)：佐田富道雄(年会講演会・混相流シンポジウム実行委員長兼論文審査委員長)、細川茂雄(オーガナイズド混相流フォーラム実行委員長)、辻本総務委員、近藤健(事務局)

議題と配布資料：

1. 前回議事録の確認 [資料 2008-03-01]
 2. 評議員・監事選挙結果と会長選挙について [資料 2008-03-02]
 3. 情報部会関連報告 [資料 2008-03-03]
(活動報告、論文精選集に関する論文審査報告他)
 4. 企画部会関連報告 [資料 2008-03-04]
(研究企画委員会、特別講演会報告、技術講習会、レクチャーシリーズ、学生会他)
 5. 国際部会報告(活動報告、事業計画他) [資料 2008-03-05]
 6. 総務部会報告(活動報告、OMF 会計報告他) [資料 2008-03-06]
 7. その他
 - 2009 年会講演会準備状況 [資料 2008-03-07]
 - 名簿について [資料 2008-03-08]
 - ICeM News Letter の取り扱いについて [資料 2008-03-09]
 - 論文審査委員(藤川先生)の後任について
 - 次回 OMF について
 - 次年度理事・役員について [資料 2008-03-10]
- その他

議事：

1. 前回議事録の確認
 - ・竹村総務部会長から資料 2008-3-01 に基づき 2008 年度第 2 回議事録の確認があった。
2. 評議員・監事選挙結果と会長選挙について
 - ・竹村総務部会長から資料 2008-3-02 に基づき日本混相流学会 2009 年度評議員・監事選挙の結果が報告され、理事会での承認がなされた。また、引き続き会長選挙を行うことが確認された。
3. 情報部会関連報告

- ・道奥情報部会長より、資料 2008-3-03 に基づき、第二回、第三回編集委員会の報告がなされた。23 巻 3 号までの特集記事内容などが紹介された。
- ・佐田富論文審査委員長より資料 2008-3-03 に基づき、年会講演会 2008 論文精選集に関する論文審査の報告がなされた。3 月号に同時発送の予定。また、論文審査過程をより深く査読者に知ってもらうための説明図が紹介された。この説明図を査読者に送付すること、その一部を WEB に掲載し会員に広く周知することが提案され、承認された。最終的な図案は佐田富論文審査委員長に一任した。

4. 企画部会関連報告

- ・齋藤企画部会長より資料 2008-3-04 に基づき、研究企画委員会分科会との報告、技術講習会企画案の説明、混相流レクチャーシリーズの紹介、オーガナイズド混相流フォーラムの報告があった。また、合わせて細川 OMF 実行委員長より資料 2008-3-06 に基づき会計報告があった。
- ・梅川学生会担当理事より資料 2008-3-04 に基づき学生会活動状況報告があり、2008 年度学生優秀講演賞関連会計報告、修士・博士論文の題目調査報告（3 月号掲載）、2009 年度学生会セミナー関連状況報告、2009 年度学生優秀講演賞準備状況報告があった。学生会セミナー（熊本開催）は川原先生、坪根先生、松山先生の 3 人を中心に企画して頂き、会告を 3 月号に掲載することとなった。また、ML による案内も検討中とのこと。学生優秀講演賞審査では審査員確保、対象者の明確化などが検討事項であることが報告された。

5. 国際部会報告

- ・石井国際部会長より資料 2008-3-05 に基づき、2008 年度事業計画について説明があった。

6. 総務部会報告

- ・竹村総務部会長より資料 2008-3-06 に基づき、総務部会関連活動について報告があった。主な報告は以下のとおり。
- ・機関別認証評価委員会専門委員として関先生（関西大学）を委員として推薦した。
- ・国立大学共同利用・共同研究拠点に対する要望書を 2 件（東京工業大学原子炉研究所と東北大学流体科学研究所に対して）提出した。
- ・2010 年会講演会は、浜松（静岡大）にて開催して頂けることとなった。
- ・西山先生（東北大学）より本学会に対してご寄付を頂いた。

7. その他

- (1) 佐田富年会講演会・混相流シンポジウム実行委員長より資料 2008-3-07 に基づき、2009 年会講演会ならびに第 28 回混相流シンポジウム準備状況について報告があった。講演数の目標は 200 件とのこと。また、カタログと機器展示数の増加を図るため、理事への協力依頼があった。
- (2) 上野副会長より資料 2008-3-08 に基づき、名簿に関する説明があった。本会での主な方針案は以下の通り。
 - ・プライバシーポリシーを策定し HP に掲載する。
 - ・事務局では電子情報の会員名簿を作成し、公開はしない。
 - ・会員情報の開示は総務担当副会長判断とする。
 - ・限られた部数を印刷し、それぞれを限られた役職（筆頭副会長、総務部会長、論文審査委員長）が管理する。
 また今後、従来の名簿は販売しないことを確認した。引き続き、名簿管理方法などについては検討事項とした。
- (3) 阿部副会長より資料 2008-3-09 に基づき、ICeM News Letter に関するこれまでの経緯、活動内容、現状分析についての説明があった。今後の対応として、情報収集等の協力を編集委員会にお願いすることなど ICeM News Letter 発行作業を編集委員会所掌に移行することなどは承されているが、国際部会との関連も含めて現場レベルでの更なる検討が必要とのこと。賞雅先生には次年度についても活動を依頼するが、編集委員会にて ICeM 活動の今後について議論をお願いすることとした。
- (4) 佐田富論文審査委員長より、藤川論文審査委員の退任に伴いその後任として渡部先生（北海道大学）を推薦したいとの提案があり、承認された。
- (5) 高曾 OMF 担当理事より、次期 OMF 実行委員長を内山先生（名古屋大学）にお引き受けいただけるとの報告があった。
- (6) 社河内筆頭副会長より、学会賞選考状況について報告があった。

(7)近藤事務局長より別添資料に基づき、入会者と退会希望者、会費未納者について報告があった。退会希望者については慰留に努め、会費未納者には支払いの催促を引き続き行うことを確認した。

以上

総務委員長：竹村文男